



2022年3月16日
JR東日本 仙台支社

磐越西線「快速あいづ」が新たなヘッドマークを掲出して運行します！

JR東日本仙台支社「会津若松エリアプロジェクト」は、地域と連携した取り組みとして、磐越西線（郡山～会津若松間）で運行している「快速あいづ」のヘッドマークデザインを定期的に更新しています。

2022年4月からは、「福島県立会津学鳳高等学校 美術部」の皆さまにデザインしていただいたヘッドマークを期間ごとに掲出して運行します。

1 掲出期間

2022年4月1日（金）～ 2023年3月31日（金）

2 ヘッドマークデザイン

別紙参照

3 ヘッドマークデザイン横断幕の掲出

多くのお客さまに「快速あいづ」のヘッドマークデザインを知っていただけるよう、会津若松駅構内に新旧ヘッドマークデザインをあしらった横断幕を掲出します。

(1) 期 間 2022年3月19日（土）～ 3月27日（日）

(2) 場 所 会津若松駅 改札内コンコース

(3) 内 容 ・「福島県立会津学鳳高等学校 美術部」による新ヘッドマークデザイン（4種類）
・「会津若松市立第一中学校 美術部」による旧ヘッドマークデザイン（5種類）

※「会津若松市立第一中学校 美術部」によるヘッドマークデザインは、「快速あいづ」がデビューした2020年3月14日から2022年3月31日まで掲出運行中のものです。

※改札内に入場する際は、入場券または乗車券をお買い求めください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止等の事由により、予告なく変更または中止となる場合があります。

JR東日本仙台支社「会津若松エリアプロジェクト」とは

2019年12月1日に、福島県会津地域の盛り上げや観光活性化を目的とした「会津若松エリアプロジェクト」が発足し、企画部門（支社など）と現業機関（駅や乗務員区など）の社員が系統を超えて相互に交流を図り、地域の特性を活かした施策を企画・実施しています。これまでに磐越西線「快速あいづ」のプロモーションや会津の素材を活かした駅弁の開発等、地域と一体となった会津の活性化に取り組んでいます。

「快速あいづ」ヘッドマークデザインおよび掲出スケジュール



期間 2022年4月1日～2022年5月31日

2023年3月1日～2023年3月31日

タイトル：会津の春（夜桜と鶴ヶ城）

込めた想い：鶴ヶ城と桜は会津を代表する春の絶景ですが、夜桜にすることで天守閣の存在感と桜の美しさが際立つようにデザインしました。



期間 2022年6月1日～2022年8月31日

タイトル：会津の夏（夏野菜）

込めた想い：伝統野菜や夏野菜は会津を代表する味覚の一つです。それらをより多くの方々に知っていただきたいと思いデザインしました。



期間 2022年9月1日～2022年11月30日

タイトル：会津の秋（秋の恵み）

込めた想い：日ごとに秋めく会津の豊かな自然や秋ならではの味覚を、風情が感じられるようなタッチで表現しました。



期間 2022年12月1日～2023年2月28日

タイトル：会津の冬（銀世界）

込めた想い：見慣れた駅や鉄道の景色も、雪が積もれば別世界に感じられるような、日常のちょっとした感動をイメージしました。